

● 參考資料

[参考資料]

■各種調査結果まとめ

| 項目 | ①人口動態 | ②産業構造 | ③観光 | ④歴史・文化 | ⑤自然・地理的環境 |
|----------------|--|---|--|--|---|
| 各種調査結果より | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三島市の人口は、2005 年の 112,241 人を機に減少傾向が続いており、今後高齢化が進む。 <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリア内の、通りに面していない裏側の部分や桜川、源兵衛川沿いでは、エリアのほかの地域と比較して住宅が多い。 | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリア内の産業割合では、飲食店が 29.6%と最も多く、続いて、販売・卸業が 16.6%と続く。 ✓ 一方で宿泊業を営む事業者の割合は、静岡県の 10.8%に対し、三島市は 2.1%と少ない。 ✓ 三島市内の商店数、商品販売額について、2007 年から 2012 年にかけて、大幅に減少し、2012 年以降はほぼ横ばいとなっている。売り場面積については、減少傾向。 <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリアへの印象について、働きたいと感じている市民が少ない。「(「思わない」、「あまり思わない」の回答の合計が 48.1%で最も多い) ✓ エリアへの印象について、魅力的なお店が多く、買い物が楽しいと感じている市民が少ない。「(「思わない」、「あまり思わない」の回答の合計が 42.6%で 2 番目に多い) ✓ エリアの今後について、魅力的な専門店があるエリアへのニーズが 3 番目に多い。(46.9%が選択) <p>事業者の回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業を継続していく上での課題として、「人通りが少ない」が最も多い。(46.6%) <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三嶋大社に近い大通り沿いでは、エリア内の他の地域と比較して小売店が多い。 ✓ 新規出店の店舗は、芝町通りと大通り沿いに多い。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三島では、物販の店舗が抜けて飲食店が入ってくる傾向が強い。飲食店は物販と比較して利益が出やすいため出店が多いと思われる。 ✓ 若手の店主が少なく、高齢化が進行している。 | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 市内の観光施設の認知度について、最も認知度が高かったのは、三島スカイウォークで 85.9%、次いで三嶋大社が 80.7%であった。山中城跡と源兵衛川の認知度は、50%を下回っており、中心エリアに位置する楽寿園の認知度も、58.2%であった。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光客の客層は、関東圏が多い。 ✓ まちなかの多言語化が進んでいない。 ✓ 観光客にまちなかを回遊してもらい、お金を落としてもらう仕組みや仕掛けが必要である。 ✓ 三島の良さを PR する情報発信が十分にできていない。 ✓ まちなかの商店主の意識が、観光客目線になっていない。 ✓ 市民がエリアの魅力を知るきっかけがもっと必要ではないか。特に商店主は、住む人の目線で物事を見がちだと感じる。 ✓ 「観光」の概念が「体験」に変わってきていると感じる。 ✓ 人との関わりを中心にした濃密な観光、移住がその先にある観光（暮らしの観光）が三島の特徴。 | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三嶋大社を中心にまちが形成され、他の市町との交流をしながら発展してきた本エリア内には、核となる三嶋大社、八小路をはじめとする昔の地名、看板建築の街並み等が残っており、特に東海道や鎌倉古道沿いには、今もその名残が感じられる場所が多く残っている。 <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリアへの印象について、歴史・文化などに市の特色を感じている市民が多い。「(「そう思う」、「ややそう思う」の合計が 58.9%で最も多い) <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 宿場町、連隊の歴史、看板建築、三嶋大社、文学のまちなど、様々な歴史と文化が残っている。 ✓ 鎌倉古道沿道は、かつて大工・建具屋・板金屋等、職人街であった。 | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本エリアは、富士山や箱根水系からの湧水が出て、美しい水が流れており、源兵衛川の水源があり、豊かな植生環境を有する楽寿園、湧水がいたるところから湧き出る白滝公園、樹齢 1000 年を超える巨木を有する三嶋大社の森など、豊かな自然環境に恵まれている。 <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリアへの印象について、水辺空間や緑が多く、居心地が良いと感じる市民が多い。「(「そう思う」、「ややそう思う」の合計が 48.9%で 2 番目に多い) ✓ エリアの今後について、居心地の良い水辺や緑の空間が多いエリアへのニーズが 2 番目に多い。(50.2%が選択) <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 新幹線を降りてすぐ、楽寿園や白滝公園があるなど、公園が多いことが三島のまちの魅力である。 ✓ 楽寿園や白滝公園、源兵衛川などがあり、自然豊かなまちである。 ✓ 水、せせらぎ、花、というキーワードが重要だと考えている。 ✓ 緑や水など魅力的な資源は多いが、うまく活用できていない。 |
| エリアのポテンシャルへの意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店個人事業主多い→ネットによる情報発信 ・ 飲食店個人事業主が多い→観光としておもしろくなるポイント→地元の材料について、PR だけでなく使用している→個人少人数グループの散策 ・ チェーン店が少なく、エリアとしての魅力が高い | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 三嶋大社 ・ 楽寿園 ・ 寺社仏閣、歴史 ・ 昭和 9 年のイメージを残した三島駅 ・ 三島市民演劇祭 ・ 文化のまち ・ しゃぎり ・ 歴史的背景が強い ・ 看板建築の街並み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 源兵衛川 ・ 白滝公園 ・ 楽寿園（駅から近い） ・ 湧水、水の流れ ・ 草、木 ・ 水や緑の資源 ・ 水の音 ・ 空気もいい ・ 緑も多くて目に優しい |

| 項目 | ⑥空き地・空き店舗 | ⑦歩行者空間 | ⑧エリア内で活動するひと | ⑨まちなかにいるひと | ⑩その他 |
|----------------------|---|--|---|--|---|
| 各種調査結果より | <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリアで空き店舗が生じる主な要因として、「家賃の折り合いがつかない」が 37.7%で最も多く、次に「店舗・建物の老朽化」が続いている。 ✓ 空き店舗の活用のために有効だと思われる取り組みとして、「家賃の低減」が最も多く、「リノベーションなどのモデルケースの創出による地域への啓発」が続いている。 ✓ エリアの今後について、空き家・空き店舗の活用のニーズが、事業者の方が市民より多く、2 番目に高くなっている。(事業者 49.2%、市民 40.3%) <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三島広小路駅の周辺では、空き店舗が多い。 ✓ 大通り沿いだけでなく、通りに面していない裏側の部分にも空き地が点在している。 ✓ 大通り沿いの空き地は面積が他の空き地と比較して大規模である。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 1 階が空き店舗でも、2 階部分を住宅としている人も多く、積極的に 1 階部分を貸す人は少ないため、まちなかの新陳代謝が起きていない。 ✓ 跡継ぎがおらず、空き店舗となっている場所が多い。 ✓ 家賃が高く、三島市空き店舗活用事業費補助金を活用して新規参入した店舗も、補助金の支給がなくなると、店を閉めてしまう。 ✓ 三島市空き店舗活用事業費補助金を活用して参入した店舗は、2 年程度経過すると商店会を退会してしまうケースが見受けられる。 ✓ 空き地や空きテナントの活用が課題でもあり、大きなチャンスでもある。 ✓ エリアリノベーションの観点では、オーナーの理解・意識醸成(同じ方向性を共有すること)が必要である。 | <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリアへの印象について、散策の魅力がある(歩くことが楽しい)と感じてる市民が多い。「(「そう思う」、「ややそう思う」の合計が 47.6%で 3 番目に多い) ✓ エリアの今後について、散策の魅力がある(歩くことが楽しい)エリアへのニーズが最も多い。(57.4%が選択) <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ エリア全体として、歩道が舗装され、段差のない導線が整備されているといえる。 ✓ 「滞在のしやすさ」と「景観・雰囲気」は、エリア全体として点数が低く、エリア内において、利用者のための案内板や気軽に座れるベンチ、連続した日陰空間が少ない他、エリア内には、植栽が少ない。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 鎌倉古道は車通りが多く、歩きづらい。 ✓ 裏路地や川沿いなど、歩いて楽しい魅力がある。 ✓ 舗装されていて広く歩きやすい歩道が多い。 ✓ 三島のまちなかは散策するには非常に良い空間だと思うので、飲食との掛け合わせで、食べ歩きの仕掛けは良いのではないかと考えている。(場所としては水道塔など) | <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 中心市街地エリアでのまちづくり等の取り組みについて、若い世代ほど参加意向が高い。 <p>事業者の回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 商店街の今後について、自身の活動は難しいとの意見が最も多く(35.1%)、他の事業者や要素でのにぎわいを望む意見が多い。(22.5%) ✓ 中心市街地エリアでのまちづくり等の取り組みについて、37.7%が「参加したい」、「参加してもよい」と回答しており、市民の回答より割合が多い。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各商店会でそれぞれに取り組みがなされている。 ✓ 一過性のイベントが多い。 ✓ 新しい人を受け入れる雰囲気があり、まちが新しい人によって活気づいている。 ✓ 商店会や事業者同士の連携に課題がある。線ではなく点というイメージで、連携があまりとれておらず、個店で完結しがちな印象がある。 | <p>【各種統計調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三島駅周辺の滞在人口について、コロナ前(2019 年)の同日と、コロナ禍の現在を比較すると、コロナ禍において三島市民の利用が高まっており、県外からの来訪者は減少している。 <p>【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 中心市街地エリアに週に 1 回以上行く人は、エリア外居住者のうち 50.1%。来訪頻度は 10 代・20 代が最も高い。 ✓ 中心市街地エリアを普段の生活圏としていたとの回答は 24.5%にとどまり、中心市街地エリアに居住していると回答した 22.6%とほぼ変わらないため、エリア外の方の利用が少ない。 ✓ 若い世代ほど中心市街地エリアに魅力を感じている。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域とつながれる場として、みしま未来研究所、みしまびと、みしま LINK、河川清掃などがある。 ✓ 各団体の行う活動の情報が可視化されておらず、活動が排他的な印象を受ける。 ✓ 早朝に高齢の方が歩いているのを見かける。 ✓ 大学生が出歩いているのを見かけることが少ない。 ✓ リモートワークを機に、地元を歩いている人が増えた。 ✓ 源兵衛川沿いでは、夏場に親子連れを多く見かける。 | <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 駐車場はエリア内に多く点在し、主に平日の日中に行った調査では、月極と時間貸しを含め、満車の駐車場を見かけることはなかった。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 立地として住みやすいまちである。 |
| 作業部会でのエリアのポテンシャルへの意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物が小さい ・ 大規模な空き地 ・ 空き家・空き店舗 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉古道沿い ・ 道路が広すぎない、迷路みたい ・ 歩くとよさがわかる(歴史のあるまち→大人になって魅力がわかる ex 楽寿園、三嶋大社) ・ 道が入り組んでいることで、宝探しのような感覚を味わえる ・ 通りによって舗装面が異なり、つぎはぎ感が面白い ・ 路地裏 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係がコンパクト ・ まつり→コミュニティ ・ 人と人とのひそかなつながり ・ 程よいコミュニティのサイズ ・ 外から来る人に対してオープン ・ 口コミで移住者の輪が広がっている ・ プレイヤー 一人一人の顔が見える | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や遺伝研等の教育・学術機関(日大、遺伝研、順天) ・ 人が歩いている(朝、高齢の方、トイレがある) ・ 郊外のほうが高齢の方が集まる場がある ・ 大学 ・ 移住者が多い ・ 市外の人間のほうがよさがわかる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて次の店に行ける ・ 一つのまちで完結 ・ うなぎ ・ 田舎 ・ ふらっと来る機会がない(目的が必要→「せっかくだから」を増やす) ・ 首都圏からのアクセス ・ 新幹線の駅が近い ・ コンパクトなまち ・ 徒歩圏内に見どころがある ・ 居心地のよさ ・ エリアが狭く歩く道が限られていることで、歩くと人に会う。会う度に仲良くなれる ・ コロケ、風鈴等ブランディングできるものが多くある |